

郵便振替＝00100-3-749814 名義「上島敏昭」

大道芸アジア月報 2020 年 7 月

vol. 31、no. 7

編集・発行人 上島敏昭

〒165-0025 東京都中野区沼袋 2-31-2

春山荘・東

■大道芸案内

主な大道芸スポット（土・日・祝日など、通年大道芸が見られるポイント）

■大阪・天保山海遊館広場 <https://www.kaiyukan.com/thv/marketplace/>■大阪パフォーマーライセンス <http://www.osaka-performer.com/index.php>■名古屋・大須ふれあい広場 ■名古屋 POP UP ARTIST <http://popup-artist.com/index.html>■しずおか大道芸の街 <http://shimarukai.org/> ■江ノ島大道芸 <https://www.fujisawa-kanko.jp/feature/daidoge.html>■ヨコハマ大道芸（山下公園、グランモール公園、ジャックモール） <http://daidoge.jp/>■お台場・デックス東京ビーチ ■みなとみらい東急スクエア ■テラスモール湘南 www.studioeggs.com■東京都ヘブンアーティスト www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/■仙台まちくるパフォーマーズ <https://machi-kuru.com/performers>

※上記の大道芸スポットは、3月より中止していましたが、7月1日現在、次の場所で再開しているようです。

大阪パフォーマーライセンス：南港 ATC、大阪市立科学館前、服部緑地、花博記念公園、鶴見緑地

東京都ヘブンアーティスト：東京国際フォーラム、町田シバヒロ、サザンスカイトワー八王子

江ノ島大道芸：一部、自粛解除

★浅草雑芸団・浅草木馬亭・定例公演

浅草雑芸団・日本の大道芸探訪プロジェクト・番外編

7月10日（金）18：00～

企画・構成・出演：浅草雑芸団

ゲスト：中西レモン（歌と絵）、あがさ（ギター）

申込み：浅草雑芸団 e-mail：zatugeidan@hotmail.co.jp

電話&FAX：03-3388-4348（カミジマ）※留守電対応となります

木馬亭の客席数（定員）がコロナ対策のため、大幅に減少します。なるべく予約、お願いします。

**★今月の大道芸公演**

※新型コロナウイルス・パンデミックにより、ほとんどの催しや公演が中止になっています。HPなどでご確認ください。

△湘南ひらつか七夕まつり 2020 【中止】 <http://www.tanabata-hiratsuka.com/>

●7月3（金）～5（日）

△サンキュー手塚ソライブ vol.18 【延期】 <https://www.studioeggs.com/thankyou0703/>

●7月3（金）4（土）→9月11（金）12（土）に延期になりました

詳細は後日改めて。

△ダメじゃん小出の葵のご紋に握りっ屁 vol.21 【延期】 ○静岡市・江崎ホール

●7月4（土）

△第33回下町七夕まつり 【中止】 <http://shitamachi-tanabata.com/> ○浅草かっぱ橋本通り

●7月7日前後の土日

△入谷朝顔まつり 【中止】 <https://www.asagao-maturi.com/> ○入谷鬼子母神

●7月6（月）7（火）8（水）

△浅草ほおずき市 【中止】 http://www.senso-ji.jp/annual_event/13.html ○浅草寺境内

●7月9（木）10（金）

△浅草雑芸団・夏の木馬亭公演 <https://www.facebook.com/zatugeidan/> ○浅草木馬亭

●7月10(金) 18:00~19:30

日本の大道芸探訪プロジェクト・番外編

企画・制作・出演：浅草雑芸団

ゲスト：中西レモン(歌と絵)、あがさ(ギター)

料金：予約¥2000(当日¥2500)状況が流動的です。なるべく予約をお願いします。

問合せ・申込み：浅草雑芸団 e-mail: zatugetidan@hotmail.co.jp

電話&FAX: 03-3388-4348(カミジマ) ※留守電対応となります

△日本大道芸フェスティバル <https://daidougei.net/> ○愛知県あいち健康の森公園(大府市森岡町 9-300)

●7月11(土) 12(日) 両日とも 10:00~16:00

出演：サンキュー手塚、桔梗ブラザーズ、セシ味ストリート、くるくるシルク、ロボットのぞみ、シンクロシティ、オマールえび、ハードパンチャーしんのすけ、伊藤祐介、荒木巴、三雲いおり、パペッション、ぼくゆう、こまつ(12日のみ)、ミスターバード、Mr.BUNBUN、アキ、Balloon-Syotaro、豊来家幸輝、CHIKI、エディー、Kei、JOU、くす田くす博、エル

※来場者は愛知県内に在住の方に限ります

※クラウドファンディングのご協力、お願いします。

△ドキュメンタリー映画ケント・W・ダール監督「東西!東西!」上演/トークライブ <http://grain-kouenji.jp>

<https://eyefishmedia.com/film-tozai-japanese.html>

●7月25(土) 17:30~ ○高円寺[Grain]グレイン(杉並区高円寺北 3-22-4 UKビル2階、JR高円寺下車、徒歩2分)

内容：ケント・W・ダール監督「東西!東西!」第3編、第4編の上映

ケント・W・ダール監督の「東西!東西!」以外の映像の抜粋を紹介

ちんどん通信社・林幸治郎とミカリンによる歌と演奏

ケント・W・ダールと林幸治郎のトーク、Q&A

料金：予約¥1000+ドリンク代¥500(当日¥1500+ドリンク代¥500)

予約・問合せ kouenjigrain@gmail.com 電話：03-6383-0440 高円寺 Grain(グレイン)

△深大寺鬼燈(ほおずき)まつり【中止】 <http://jhozuki.web.fc2.com/hozuki.html>

●7月25(土) 26(日)

△四国中央 紙まつり【延期】 <https://kami-maturi.jimdo.com/> ○愛媛県四国中央市川之江地区

●8月1(土) 2(日) →令和3年(2021)7月31(土) 8月1(日)

△第13回はこだて国際民族芸術祭【通常開催は断念】 <http://wmdf.org/> ○函館市元町公園ほか

●8月5(水) ~ 11(日)

△とちぎ夏空大道芸フェスティバル2020【例年通りの開催はできない】 <https://www.facebook.com/kitanodaitidedaidougei>

●8月14(金) ~ 16(日) ○帯広市

△フジロック・フェスティバル'20【延期】 <https://www.fujirockfestival.com/news/index> ○苗場スキー場

●8月21(金) ~ 23(日) →2021年20(金) ~ 22(日)

△お化け縁日2020【中止】 ○深川江戸資料館、江戸資料館通り

●8月下旬の土・日

△立川諏訪神社例大祭【中止】 <https://bluerose.biz/2020/05/tachikawasuwajinja/> ○立川諏訪神社(立川駅より徒歩10分)

●8月21(金) ~ 23(日)

△第45回野毛大道芸【中止】 <http://daidougei.jp/> ○横浜市・野毛商店街

●9月12(土) 13(日)

△大道芸オスピタパーティ in 宇都宮

●9月12(土) 13(日) <https://www.facebook.com/ospitaparty/> ○宇都宮バンパ市民広場

くす田くす博、紙磨呂

△モリコロパーク大道芸フェスティバル2020 <https://mrkrddg.com/> ○愛・地球博記念公園モリコロパーク

●9月21(土祝) 22(日)

△SAPPORO PERFORMANCE PARTY 2020 <https://sapporo-performance-party.jimdofree.com/> ○札幌駅前、札幌駅前地下歩行空間ほか

●9月21(土祝) 22(日)

出演：ロ・ポッサ、うちー、斉藤航、エクストリーム芹川、多治見大道芸見本市、くす田くす博、ポイ魔人、さやかーちゃん、NPO 法人中部大道芸ネットワーク、ECC ジュニア美香保教室、松波裕樹、E'zon music、出塚真司、SEI☆YA、しばたゆえ、石川更紗、大道芸人バッド、コバルちゃん、CREATIVE STUDIO、AKKI'S、小安美喜、はなえだ、日暮貴之、大道芸人ジーニー、RYO

△高知大道芸フェス2020 <https://www.facebook.com/DAIDOUGEI.KOCHI> ○高知市中心街

●10月3(土) 10(日)

△第43回大須大道町人まつり <http://autumn.nagoya-osu.com/chonin/> ○名古屋市大須観音、大須商店街界隈

●10月10(土) 11(日)

△大道芸ワールドカップ in 静岡【中止】 <https://daidougei.com/> ○静岡市駿河城公園、呉服町通り、ほか

●10月31(土) ~ 11月3(火祝)

若林正の

食って極楽

カプサイシンはコロナに効くか

…高田馬場「蒙古タンメン中本」

何だかなし崩しに日常生活が戻りつつある今日この頃。自粛していた週一二回の朗読ボランティアが再開し高田馬場に通っているが、先日つい誘惑に負けてしまい、ラーメン食べたいと入ってしまった。マスコミで有名な「蒙古タンメン中本」。ここは激辛ラーメンが有名で、一度食べると中毒になると云うが、まだ食べたことはなかった。

人気店で行列も出来るらしいので、開店直後の11時過ぎに行く。すでに八割かた席は埋まっているも、待たずに着席。感染対策は席をアクリル板で仕切っているくらいで、まあそんなもんか。

注文したのは 味噌五目冷やし大盛 ¥950 也。野菜が多めのつけ麺だ。辛さは 10 と表示されてるから、これは辛いだろうと覚悟。出てきたのは丼が二つで、タレと野菜が入った丼と麺の丼。大盛なのにわりと普通の量に見えるけど…野菜が多いので具から食べるが、辛いというよりしょっぱい！

つけ麺だから濃い目の味は分かっているけど、先に野菜食べないと麺をつけられんからなあ。食べ進めていくが、あんまり辛くないぞ！私が辛さに強いのか？結局あつという間に完食。味は…うーむ、普通。少なくとも私は中毒にはならない。

しかし、もしやコロナに感染してて味覚障害？と思ひ当たり冷や汗が。麻婆豆腐が辛くなかったという感染者がいたもんな。でも食後の微糖コーヒーは味分かったから大丈夫だろう！。○次は一番辛い北極タンメンとやらを食ってみるか度=2 ワカ

大道芸・見たり・聞いたり・演じたり ☆その 344 変則特集

新型コロナ自粛で「アートにエールを！」に応募報告

上島敏昭

新型コロナウイルス禍はいっこうに終息する気配はないが、それでもなし崩し的に「日常」がもどりつつある。徳川夢声の『戦中日記』だったかと思うが、空襲警報が解除されたとたんに、子どもたちは防空壕からとび出して遊びのつづきを始めた。それを見て、非常時さえも日常に変えてしまう子供たちのバイタリティに驚くというような記述があったが、たぶん今がそんな状態なんだろうと考えてしまった。

大道芸も何か所かで再開され始めている。また、ハッピードリームサーカスから独立したマルチネスファミリーが「SAKURA CIRCUS」という団体を設立し、7月22日より活動を始めるそうだ。シルク・ドゥ・ソレイユが会社更生法申請という暗いニュースの陰で、一筋の光明のような話題である。

さて、今回も大道芸界隈ではほとんど話題がないので、自粛中の私自身のことを記しておきたい。

例年、決まった時期にいただいていた依頼仕事なくなり、何かしなければ…と思っていたころに聞こえてきたのが、東京都が芸術・芸能分野に支援策を考えているらしいという話だった。政府が一世帯に30万円配布するらしい、いや対象が限定的過ぎて普通の人では無理らしい、いやいや一人10万円にするらしい…、とか、持続化給付金という制度ができてこちらは百万だ、二百万だとか、いろいろ言われていたころである。そんな話を聞かされても、芸能やら文化やらには「不要不急」とレッテルを貼りつけるこの国では、給付対象から除外するのだろう、とマユツバ感たっぷりだった。それに対し、東京都でははっきりと「芸術・芸能」とうたっているという。半信半疑ながらHPで確認すると、計画はかなり具体的になっており、参考の映像までが貼り付けられていた。そこにはヘブンアーティスト系の大道芸人の映像もいくつもあって、これなら私でもなんとかなるかもしれないという気にさせられた。目の前に人参をぶら下げられた馬がおそらくこんな心地であろう。よし、いっちょ走ってみようと、気持ちのギアを入れ換えた。

◆「アートにエールを！東京プロジェクト」とは

東京都生活文化局ホームページを開くと、“芸術文化活動支援事業「アートにエールを！東京プロジェクト」”というページがあり、募集要項等が細かく記されていた。

「1 目的／文化の灯を絶やさないための対策として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、活動を自粛せざるを得ないプロのアーティストやスタッフ等が制作した作品を Web 上に掲載・発信する機会を設けることにより、アーティスト等の活動を支援するとともに、在宅でも都民が芸術文化に触れられる機会を提供します。

2 概要／プロとして芸術文化活動に携わるアーティストやスタッフの方などから、Web 上で配信する動画作品を募集します。動画作品は、専用サイトで配信するとともに、制作されたアーティストやスタッフ等の方などに出演料相当をお支払いします。」

つまり、アーティストが自身の芸術文化活動の成果を作品として作り、web 用映像に仕上げると、web 配信され、その出演料として10万円が支払われるというのである。われわれ浅草雑芸団や私個人のパフォーマンスも youtube にアップされているものがあるが、お客さんや関係者がアップしたもので、私はやったことがない。しかし、やりかたぐらいはわかるし、聞けば教えてくれる知り合いはいる。このあたりは大丈夫そうだ。

3 募集内容を見ると、「動画作品の応募に当たっては（中略）登録が必要で」「個人登録後、動画作品の企画の応募が可能」とある。対象者は「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、活動を自粛せざるを得ないプロのアーティスト、クリエイター、スタッフ等」で、その分野は「音楽、演劇、舞踊、美術、映像、伝統芸能、複合（核となる分野を特定できない芸術活動）等」とあり、具值的に「音楽家、俳優、舞踊・舞踏家、美術家、カメラマン、伝統芸能実演家、演出家、脚本家、舞台監督、照明家、音響家、舞台美術家、制作者、キュレーター、メイクアップアーティスト、

舞台衣装家、その他アートワーク、クリエイションに関わるプロフェッショナル」とあるから、いわゆる文化芸術の実演・実作家ならほとんど含まれる。つまり大道芸もOKということ。さらに1年以上プロで活動していること。東京在住か東京中心の活動という条件がつく。それ以外に、三年分の活動歴とコロナの影響を報告すること、映像作品は3分から10分ぐらいとか書いてあった、そして最後に募集人員4000人とある。演劇人だけでも数百人、寄席演芸関係は落語、講談、浪曲でも数百人、美術家だって何百人もいる。もちろん大道芸人も百人ではきかない。私にとっては、この数がかなりネックになりそうな気がした。

登録から、作品提出、映像公開までの流れを見ると、5月15日から月末までが登録期間で、ここで応募IDをもらう。5月20日～6月12日が応募期間で、ID登録者が企画書をweb上で応募する。そこで審査され合格となれば、それから一か月以内に映像を提出すると、これがYOUTUBEにアップされ、10万円が支払われるとある。

◆応募から動画提出へ

まず、応募。5月15日当日。その日、私は病院の予約が取ってあった。日延べも考えたが、面倒なので、昼過ぎには帰るのでそれから手続きすることした。1時ぐらいに帰宅しHPを開けると、「大変混み合って申し訳ありません云々」の文字が目に入る。Twitterやfacebookを見ると、朝10時、開通と同時にアクセスが集中し、ダウンして大騒ぎになっているらしい。おいおい、どうなるんだと思いつつ、しばらくチャレンジしていると、「本日は6時過ぎても受け付けます」とあるのを見つけ、少し安心し、3時ぐらいに登録完了した。IDとともに送られてきた申請番号は12809とあった。予定されていた一週間の応募期間はたった一日で終了となった。4000人ではとても足りなかったのだ。そこで足切りされていたら…と思うと冷や汗が出た。

とにかく応募資格は得た。次は企画だが、随分悩んだ。応募要項を見ると「映像作品」が求められている。ただ練習風景ではダメなのだ。それなりの映像を作るとなると、技術もノウハウも機材も必要だが、私はいずれも持っていない。それならばいっそ、大道芸をそのまま「ぶっつけ本番」「ワンカット」、しかもスマホで撮るのがよかろうと、腹をくくる。3～10分で収まる演目となれば、「イチは万物のはじまりで～」というネタしかない。また、トラの着ぐるみがあるのでそれを装着して「コロナ退散」を祈念するという趣旨にし、企画書をでっちあげた。企画書の申請は、登録時のトラブルのため、当初の予定より1週間遅れてはじまることになり、同時に「途中では打ち切りません」と公式発表があった。そりゃそうだろう。準備して作った作品を期間中に申請したのに、受け付けませんとは言えまい。

すこし安心して撮影準備をはじめた。撮影は「三密を避ける」という条件があるので、近所の公園にいい場所がないものかとロケーションしてまわった。人が来なくて、すこしは音や声を出しても大丈夫で、景色も良い場所を探す。その結果、3か所ほどに当たりをつけ、それぞれで実演し、撮影してみて、最終的に一つに絞った。

ここまで準備した段階で、企画応募当日を迎えた。HPを開けると、映像を送る（貼りつける）ところがみつからない。どうしてだろう。隅から隅までみたがわからない。ま急ぐことはなからうと一夜明けて、もういっぺん調べたがわからない。というよりわからなくて当たり前で、ここでは企画書だけを送り、それが審査されてはじめて映像を送るという順序になっている。映像を送るのは企画が通ってからだ。インターネットだけでやりとりすることに不慣れなものだから、そんなことすら思い違いしていた。いまさらながら理解力の衰えに唾然とする。そんなこんながあったものの、結局、企画応募の二日目に応募完了することができた。

さあ、本番の撮影だ。こんどは着ぐるみを着て実演する。これが想像以上にたいへんだった。そもそもこの着ぐるみは何かの芝居の払下げ品で、改造しなけりゃ使えない。手指が動くようにし、頭にかぶるヘルメットを調整し、毛皮をひらひらしないようにして…。そんなことだけで数日かかった。さていよいよ装着だが、現場ではあまり時間をかけられない。着脱の練習も必要。いちばんの問題は、これを装着したために体が重くなり、さらに動きづらくて、簡単な放下芸なのにバランスがとれず、思いもしないところで失敗してしまうのである。着ぐるみを装着して練習を繰り返す。こんなに練習したのは久しぶりだ。

そんなことしているうちに、だんだん夏に向かい、気温は高くなる。雨の日も多くなる。梅雨にはいったら撮影はむずかしいだろうと、気分は急いてくる。見切り発車で撮影日を決めて、いよいよ撮影にのぞんだ。

いやあ、失敗すること、すること。やり直しの連続。うまくいった、ようやく終わったと思ったとたんに、画面に入って話しかけてくる人がいたときには、ほんとうにガックリした。そんなこともあったものの、どうにか撮影終了。わずか数分の演目なのにたっぷり一時間。くたくただった。とにかく映像はできあがった。

映像編集は、ほとんど無いに等しい。ほんとうはファイルをMP4にするつもりでいろいろ試したがうまくいかず、WMVで完成させて、事務局からの知らせを待つ。

一週間たち十日たち、そのうちに、企画合格したという話をチラホラ聞くようになったが、私には何の連絡もない。まさかダメだったんじゃないだろうかと疑心暗鬼になってきたころ、6月9日附けで、採択通知が届いた。通し番号1206とあった。とりあえずめでたい。映像を確認して、翌々日に大容量ファイル便で事務局に送付。折り返し「動画作品」確認のメールが届いて、すべて完了となった。

どんな風にアップされるのか、連絡はくるのかと思って待っていたが、梨のつぶてだったが、数日前、「アートのエールを！」のHPの動画検索で調べたらアップされていたと聞き、確かめたら、出ていました。あとはお金が入るのを待っている状態である。結局、わたしの自粛期間はほぼこのプロジェクトだけに費やされたこととなります。

